

厚生労働

編集協力 / 厚生労働省

2013
12
DEC.



ひと、くらし、
みらいのために

特集

「健康寿命」をもっとのばそう！
特定健診・がん検診のススメ

MHLW TOP INTERVIEW

三浦雄一郎

冒険家

地域発

～未来社会への試み～

[第8回] **茨城県**

独自の「地域ケアシステム」を活用
地域特性に合った高齢者福祉を展開

復興への道

特定非営利活動法人
さんさんの会

厚生労働省

探検隊がゆく!

[第21回] **統計情報部**

政策の企画立案の基礎を支える
データ収集と利便性の高い
情報システム化を推進



モンゴル人指導者候補 日本研修開講式開催

公益社団法人日本柔道整復師会国際部 報告

公 益社団法人日本柔道整復師会は、海外協力活動の一環として、諸外国に対する日本伝統医療（柔道整復術）普及事業に取り組んでいます。モンゴル国との間では、2006年以来、モンゴル国立健康科学大学と連携して、モンゴル国各地に出向き、現地での技術指導を行うとともに、日本伝統治療（柔道整復術）指導者養成・普及プロジェクト事業として、モンゴル人指導者候補の研修を日本において行っています。

この事業は、国際協力機構（JICA）による草の根技術協力事業（パートナー型）として行われているもので、約2カ月にわたり、柔道整復施設所や協力病院等で研修を行うものです。



日本柔道整復師会会長、駐日モンゴル大使館一等書記官と研修生

10月22日、この日本研修の第2回開講式が、モンゴルからの研修員3名を迎えて、駐日モンゴル国スフバートル・ボロルチメグ公使、JICA地球ひろばNGO連携課の内藤徹課長ほかのご出席を賜り開催されました。当社団の工藤鉄男会長の挨拶に始まり、



研修生と参加者の歓談

研修員3名により、モンゴルでの活動実績と日本研修への思いをスライドを使って報告・発表を行いました。その後、モンゴルとインターネットを通し、カウンターパートである国立健康科学大学附属看護学校のオトンゴア・ネメヒー学長からご挨拶をいただき、また、現在トウブ地方で活動中の研修員による講義風

景も現場から中継しました。今回の2カ月の日本研修が有意義なものとなり、研修員の皆さんが、モンゴルに戻られてから一層の普及活動に取り組まれることを熱望しています。

なお、モンゴル国においては、落馬事故等の外傷も多く、一方で地方における医療機関の整備も不十分です。そういった環境の中、高度な機器、高価な材料を必要とせず、どのような環境下でも対応できる自己完結的なものとして、また「人にやさしい医療」として、柔道整復術（JUDO THERAPY）は、高い評価を受けています。今後とも、日

本柔道整復師会は、日本の誇れる伝統技術としての柔道整復術を、モンゴルにとどまらず多くの国へ普及に努める考えです。



モンゴル人指導者候補日本研修開講式